

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白馬村どんぐり地区景観整備事業
事業主体 (連絡先)	どんぐりを元気にする会 (会長:高橋守 白馬村北城9464-288)
事業区分	環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	541,936円 (うち支援金:403,000円)

事業内容

1. 展望台整備事業

- ・伐採:高さ20mを超す樹木を20本を伐採
- ・植栽:ツツジ、アジサイの株、計250株を伐採
- ・設置:展望台に石製のテーブルとベンチを2セット設置

2. 植栽の実践

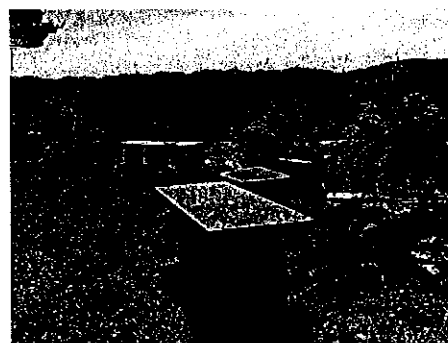
- ・山野草や花木を育てて増やすために2回講習会を開く
- ・講習会と発表会を「作品展」として11月に開く

3. スタンプラリーの実施

- ・展望台にアンケート記入所を設け34件の回答をもらう

4. モデル的で発展性のある事業である理由

- ・展望台や遊歩道に地元山野草や花木が見られる
- ・植栽等の講習会を開き、山野草や花木を自らが育てて増やしていく



【整備された展望台】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①スタンプラリーは実施できなかったが展望台にアンケート用紙を置くスタンドを設け来訪者の意見を集めることができた
- ② 区民の関心が高まり積極的に案内することになり、どんぐりのよい所を再認識してきて案内する度に参加者が増えてきた
- ③ 会員のみの講習会を2回実施でき、春はツツジとアジサイの挿し木、秋はシラネアオイ、キンケショウマ、オヤマザクラの種を3000粒を蒔いた
- ④ 歩こう会を3回実施した。アウトドア会社のスタッフにも参加してもらった
- ⑤ 会員数を33名に増やすことができた

【目標・ねらい】

- ①スタンプラリーを実施して来客数を把握して20%の来客数の増加を図る
- ②どんぐりとキャンプ場の宿泊者数との利用率を増加していく
- ③講習会と展示会の参加者数を把握し増加させていく
- ④コース散策の参加者数の把握をして増加を図っていく
- ⑤会の活動実績を理解してもらい会員数を30名に伸ばしていく

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・アンケート結果を分析し参考にして今後の活動に活かしていく
- ・今年、挿し木や種を蒔いた草花を定植する
- ・岩岳遊歩道への接続とアウトドア会社とのコラボ事業を実施する
- ・会員には更に会の事業に積極的に参加するようにアピールしていく

※自己評価【B】

【理由】

- ・事業計画についてはほぼ実施することができた
- ・作品展についてはバリエーションに富んだ作品と多数の来客があった
- ・多数の苗作りができ来年の目標ができた
- ・自信をもって展望台に案内することができる